

沖縄での白髭ウニ養殖本番の実験開始 準備段階から本格養殖のステージに入る

沖縄で、本格的商用陸上生産が実現

本年度6月からテストプラントでの白髭ウニの陸上養殖の準備に入り、4ヶ月が経過。実際に計画されているウニの商用生産に向けて実験の体制が整い、本件の低コスト養殖オペレーションの一つである「高密度養殖」の段階に入る。

これは来年予定されている商用生産に向けて、養殖の低コスト化を達成する手段の内の一つで、大量

のウニを高い養殖密度で人工餌を与え、均一に低コストでウニを養殖する方法の一つ。

この状態で数種の異なる人工餌を与え、最高のウニのサイズ、色、味を実現するために餌の選別と、ウニの育成ノウハウをさらに習得するために、実験を開始。

この計画・実験が成功すると、日本初のウニの本格的商用陸上生産が沖縄の地で実現することになる。



▲写真は色とりどりのウニがひしめき合い、養殖されている様子



▲実験を開始する宜野座漁港